

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.66

2019.11

当院に通院中の乳がん患者さんの多くはお仕事をされています。お仕事内容や勤務形態は様々ですが、多くの方が乳がんを疑った時や乳がんと診断された時には、お仕事の継続に不安を持たれると思います。また、これから始まる通院や入院治療で職場に迷惑がかかるんじゃないかという気持ちで慌てて仕事を辞めてしまう人もいます。そこで今回はお仕事について4つお伝えしたいと思います。

乳がんを診断されたら、お仕事どうしますか？

■ すぐにお仕事は辞めないで下さい！

乳がんの治療が始まっても、職場の理解と協力を得ながら治療と両立してお仕事は可能です。経済的な問題だけでなく、気分転換や生きがいにもつながります。慌てて判断せず、職場と相談したり治療方針を確認したり、落ち着いて整理して考えられるようになるまでゆっくり考えていきましょう。



■ お一人で悩まず、病院の色々な相談窓口を利用して下さい！

治療による副作用などでお仕事復帰に自信がなくなり、実際に復帰しても痛みで以前のように動けないなど支障が出る方もおられます。ご不安があればまず職場の産業医に相談して下さい。産業医がいらない場合、上司や人事課など信頼できる人にまずは相談してみてください。当院では、メディカルソーシャルワーカー(医療相談員)やがん相談担当の看護師がお仕事に関してのご相談をお伺いいたします。社会保険労務士の無料相談などでも相談できます。広報などチェックしてみてください。お仕事の事は自分だけの問題と抱え込まず、主治医や信頼できる周囲の人に、症状やお困りのことをお伝えください。

■ 休職中のサポートは色々あります！

まずは主治医と、どれくらい療養が必要か、またはどんなお仕事内容なら少しずつ復帰が可能かなど相談し、具体的にお仕事の内容をお伝え下さい。患者さんが知って役立つ制度はいくつかありますが、さらに詳しい説明をご希望される場合は当院の各種患者支援窓口をご利用下さい。お金や休みに関するサポートはもちろんのこと、がん治療に伴う外見の変化に対しても当院では患者サロン、化学療法センターや病棟での情報提供コーナー、認定看護師との総合看護相談など、サポートさせていただきますのでお気軽にご相談下さい。

■ 職場には体調に関することは伝えておいた方が安心かも…。

体調をみながら医師と相談して、新たに就業することはもちろん可能です。お仕事を探すときは、志望動機や経歴など同様に、体調に関することは不自然に隠さず、ご自分の言葉でしっかりお伝えのうえ、長い目でハローワークなどに相談していきましょう。

また元のお仕事に復帰する前には、復帰前に普段利用している通勤手段を試してみる、職場の制服を着てみて少し動いてみる、時間を短縮して復帰してみる、フレックスタイムなど利用する、などもお仕事復帰の自信につながるかもしれません。



市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

乳がん看護認定看護師
梅本 郁奈子